

平成18年4月21日
独立行政法人海洋研究開発機構

伊豆半島東方沖地震に関わる緊急調査実施のお知らせ

海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）は、平成18年4月21日伊豆半島東方沖で発生しました地震に伴い、緊急調査を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

< 調査の目的 >

初島沖6kmの海底（水深1,174m）に設置されている「初島沖深海底総合観測ステーション」[（別添1）](#)によって撮影された地震発生直後の泥流[（写真1、2）](#)による堆積物の状況変化の把握及び今回の地震による「初島沖深海底総合観測ステーション」への影響の確認を行ないます。また、この調査により、今回生じた海底での地すべりの規模を知る手がかりが得られます。

< 調査の概要 >

海洋研究開発機構が有する海洋調査船「なつしま」及び無人探査機「ハイパードルフィン」を用いて、「初島沖深海底総合観測ステーション」周辺[（図1）](#)において、水中カメラによる目視観測などの調査を行います。

調査期間：平成18年4月22日（土）～4月25日（火）

お問い合わせ先

海洋研究開発機構

地球内部変動研究センター 海洋底観測研究グループ グループリーダー

木下 正高

TEL046-867-9323

経営企画室 報道室長 大嶋 真司

TEL046-867-9193

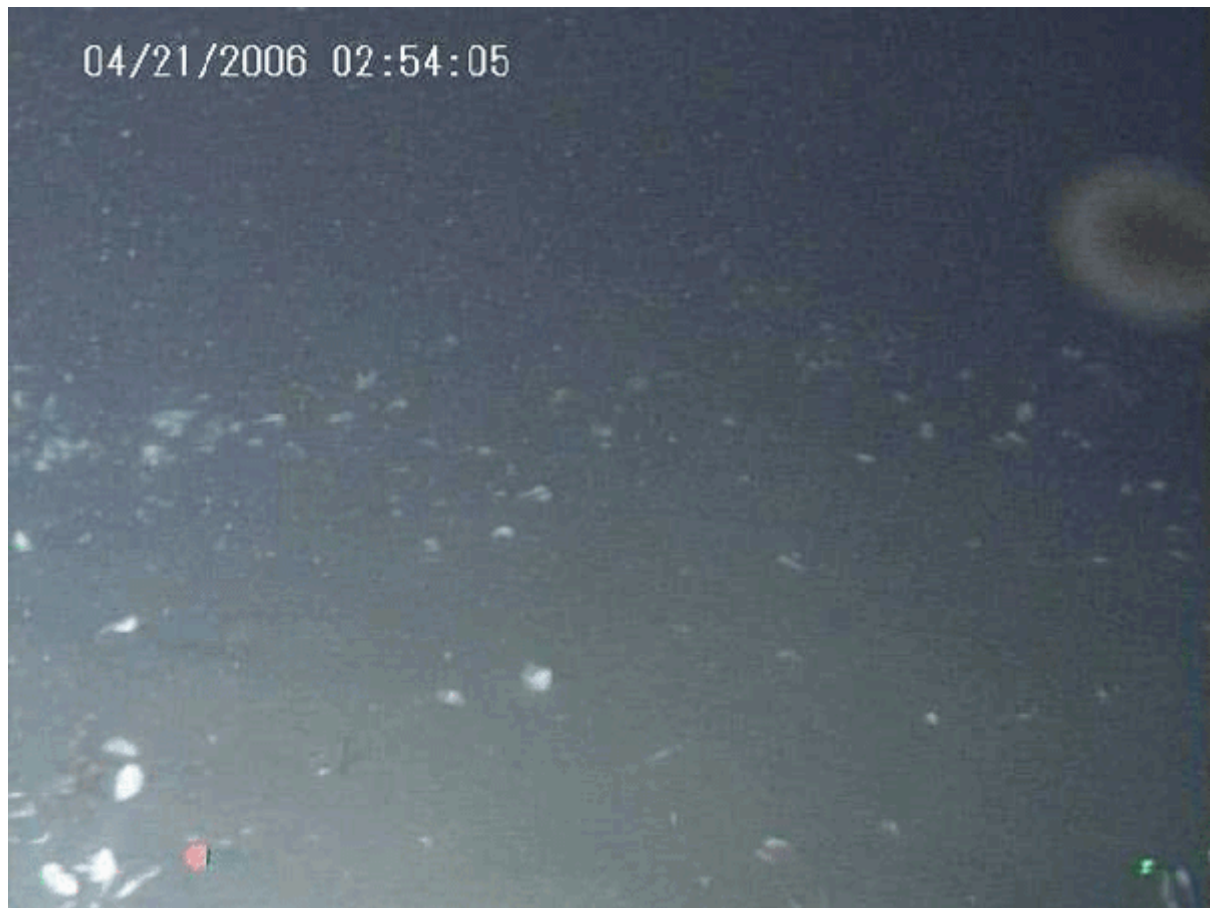


写真1 初島沖深海底観測ステーション泥流発生前の画像



写真2 初島沖深海底観測ステーションにより確認された泥流

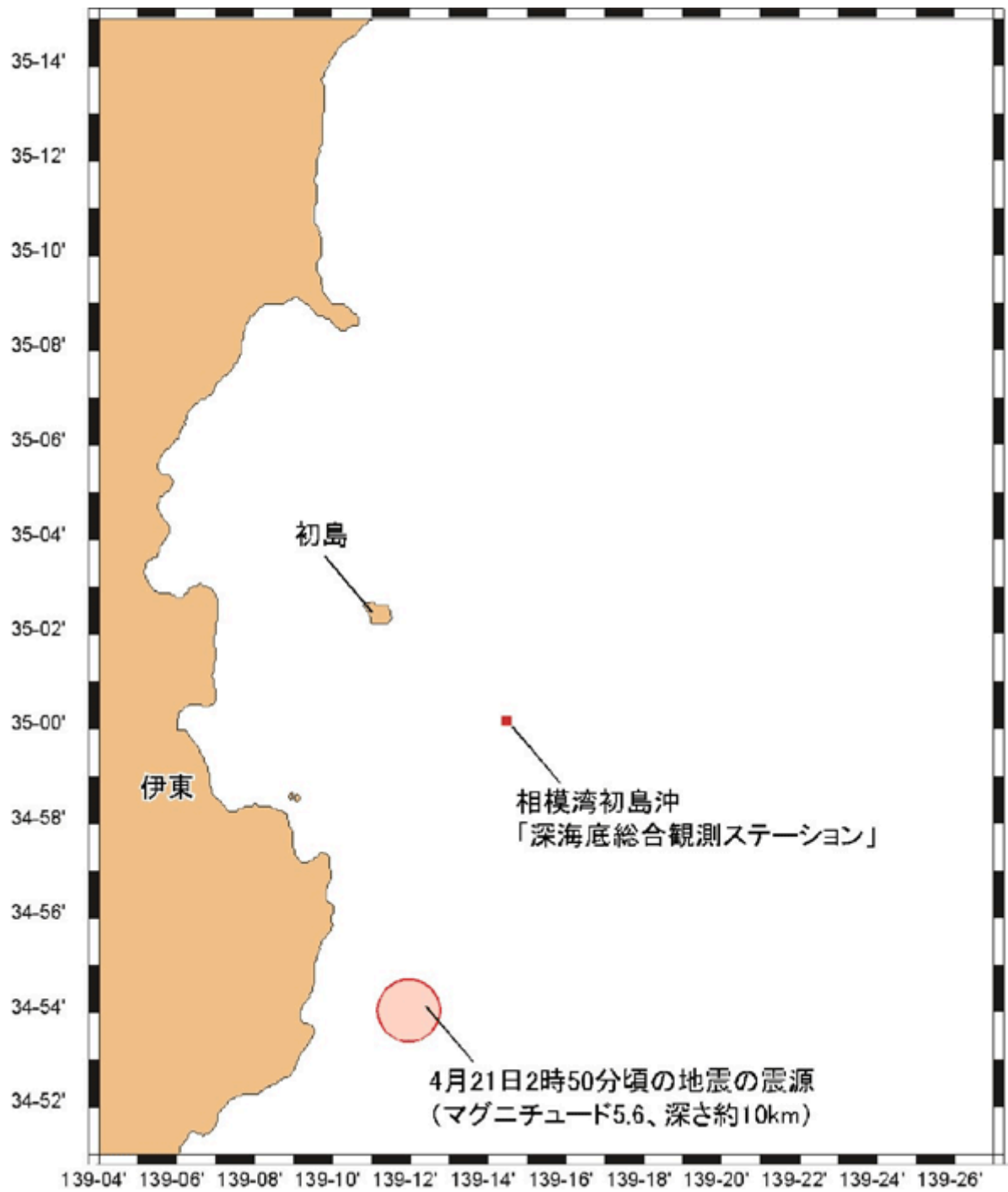


図1 調査海域概要図